

# 令和7年度 農作物病害虫発生予察3月月報

令和8年(2026年)4月1日  
山口県病害虫防除所

## I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
3.1	9.2	7.4	1.8	14.7	13.1	1.6	4.4	2.3	2.1
3.2	6.1	7.8	△ 1.7	11.6	13.8	△ 2.2	1.5	2.6	△ 1.1
3.3	7.5	8.5	△ 1.0	14.0	14.7	△ 0.7	2.0	3.0	△ 1.0
3.4	9.5	9.3	0.2	15.8	15.5	0.3	3.1	3.8	△ 0.7
3.5	11.4	9.9	1.5	17.7	16.0	1.7	5.7	4.4	1.3
3.6	13.9	10.7	3.2	21.7	16.8	4.9	7.5	5.2	2.3
平均・計	9.6	8.9	0.7	15.9	15.0	0.9	4.0	3.6	0.5
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
3.1	38.0	21.0	17.0	25.7	23.1	2.6			
3.2	22.0	22.3	△ 0.3	24.9	24.3	0.6			
3.3	0.0	23.5	△ 23.5	43.6	25.6	18.0			
3.4	20.0	25.4	△ 5.4	28.8	26.2	2.6			
3.5	62.0	25.8	36.2	30.5	26.5	4.0			
3.6	54.0	29.8	24.2	46.1	33.0	13.1			
平均・計	196.0	147.8	48.2	199.6	158.7	40.9			

## II 作物の生育状況

- コムギ : 分げつ期以降の気温が概ね高く推移したため、出穂期は平年に比べ早い見込み。茎数は概ね平年並みの状況。
- イチゴ : 低温及び株疲れの影響で、一部生育停滞が見られたほ場があったが、気温の上昇に伴い生育は回復しており、4月以降も収穫は順調に続く見込み。
- タマネギ : 定植後の降水量が少なかったことから活着が遅れたが、気温の上昇に伴い生育は回復し、中生以降の品種を中心に生育は順調に進んでいる。

### Ⅲ 病害虫の発生状況

#### 1 普通作

2026年3月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
コムギ (調査ほ場数:17) うどんこ病、さび病類	下旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	—	—
縞萎縮病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率41.2% (平年4.1%)、発病茎率19.1%(平年 2.2%)、発病面積率17.4%(平年2.2%)で 平年に比べ多かった。	県内全域	甚 195 多 293 中 98 少 98 計 684
黄斑病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率23.5% (平年12.4%)、発病茎率3.1%(平年 4.3%)、発病度0.8(平年1.0)で平年に比 べ多かった。	県内全域	少 391

#### 2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年14.8%)、発病葉率0.9%(平年 1.4%)、発病度0.2(平年0.4)、発病葉枝 率1.4%(平年1.8%)で平年に比べ少な かった。	県内全域	少 54
そうか病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率21.1% (平年7.8%)、発病葉率0.8%(平年 0.3%)、発病度0.3(平年0.1)で平年に 比べやや多かった。	県内全域	少 215
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率36.8% (平年18.8%)、寄生葉率1.2%(平年 1.4%)で平年並みであった。	県内全域	少 376
ナシ (調査ほ場数:9) 黒斑病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率55.6% (平年27.2%)、発病枝率0.2%(平年 0.3%)、発病芽率0.4%(平年0.1%)で平 年に比べやや多かった。	県内全域	少 34

#### 3 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イチゴ (調査ほ場数:20) 灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年16.1%)、発病株率0.6%(平年 1.7%)、発病果率0.1%(平年0.3%)で平 年並みであった。	県内全域	少 10
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年 6.6%)、発病株率0%(平年0.8%)、発病 葉率0%(平年0.2%)、発病果率0%(平年 0.1%)で平年に比べ少なかった。	—	—
菌核病	下旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イチゴ アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年24.1%)、寄生株率10.0%(平年2.9%)で平年に比べやや多かった。主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	甚 5
			中 5
			少 14
			計 24
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率55.0% (平年40.1%)、寄生株率18.9%(平年14.6%)で平年に比べやや多かった。主要種はナミハダニであった。	県内全域	多 5
			中 14
			少 34
			計 53
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率70.0% (平年39.2%)、寄生花率8.4%(平年3.9%)で平年に比べやや多かった。主要種はヒラズハナアザミウマであった。	県内全域	甚 19
			多 14
			中 14
			少 19
計 66			
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年22.0%)、寄生株率0.3%(平年5.1%)で平年に比べやや少なかった。主要種はオンシツコナジラミであった。	県内全域	少 10
タマネギ (調査ほ場数:28) べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率3.6% (平年6.8%)、発病株率0.1%(平年0.5%)で平年並みであった。1a当たり調査での発生ほ場率7.1%(平年12.9%)、1a当たり越年り病株(一次感染株)数0.3(平年1.9)であった。3月11日~12日の県内一斉調査(136ほ場)では、発生ほ場率5.1%(平年15.7%)、1a当たり越年り病株(一次感染株)数0.2(平年3.1)で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率3.6%(平年6.5%)、発病株率0.1%(平年0.5%)で平年並みであった。1a当たり調査では、越年り病株の発生ほ場率3.6%(平年15.4%)、発病株数0.6(平年0.8)であった。	県内全域	少 6
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年3.6%)、発病株率0%(平年0.9%)で平年並みであった。1a当たり調査での発生ほ場率0%(平年6.8%)、発病株数0(平年11.4)であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年4.3%)、発病株率0%(平年0.7%)で平年並みであった。1a当たり調査では、発生ほ場率0%(平年9.3%)、発病株数0(平年6.0)であった。	—	—

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
タマネギ 腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年3.9%)、発病株率0% (平年0.1%) で 平年並みであった。1 a 当たり調査での発 生ほ場率3.6% (平年10.7%)、発病株数 0.0 (平年0.4) であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年4.7%)、発病株率0% (平年0.3%) で平 年に比べ少なかった。1 a 当たり調査では、 発生ほ場率17.9% (平年14.0%)、発病株 数0.6 (平年1.5) であった。	—	—
ボトリチス属菌 による葉枯れ症 (白斑葉枯病)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年0.4%)、発病株率0% (平年0.0%)、発 病度0 (平年0.0) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年0.7%)、発病株率0% (平年0.0%)、発 病度0 (平年0.0) で平年並みであった。	—	—
さび病	中旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年0.4%)、発病株率0% (平年0.0%)、発 病度0 (平年0.0) で平年並みであった。	—	—
軟腐病	中旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。1 a 当たり調査では、 発生ほ場率3.6% (平年0%)、発病株数0.1 (平年0) であった。	—	—
萎黄病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認め られず平年並みであった。	—	—

お問い合わせ先  
 山口県農林総合技術センター(山口県病虫害防除所)  
 TEL (0835) 28-1211 (代)